

SHIRAKOBATO

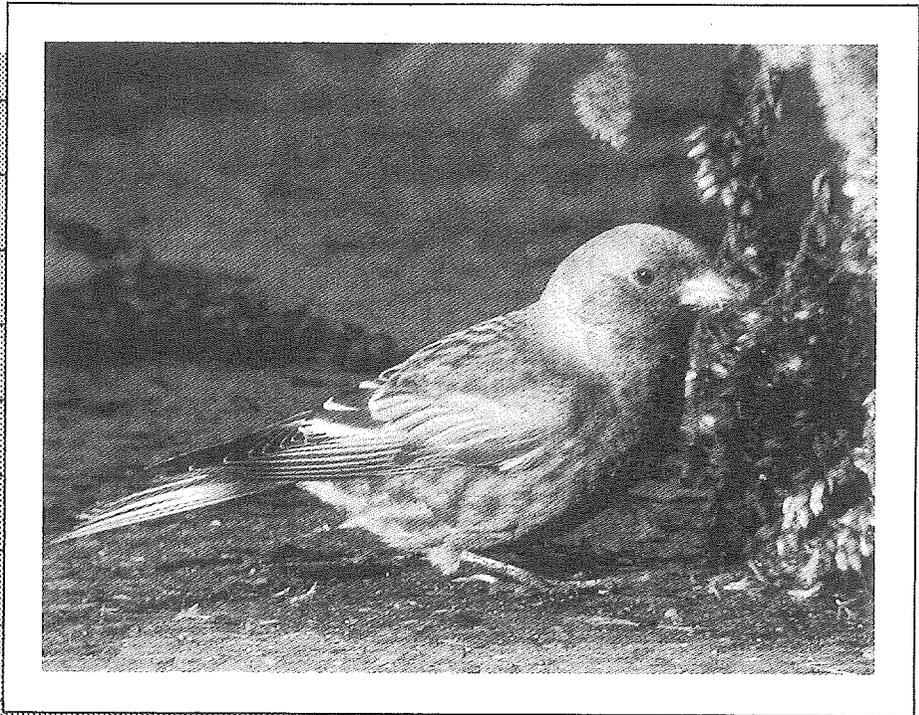
# しらこぼと



## 2003.2

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 226

日本野鳥の会 埼玉県支部

# 大麻生探鳥会200回の記録

森本國夫（熊谷市）

## ■はじめに

大麻生は、県内でも有数の歴史ある探鳥地です。支部発足直後の1984年(昭和59年)5月から継続して探鳥会が行われていて、2002年(平成14年)9月で200回目の探鳥会を迎えました。これを記念して大麻生について少しまとめてみました。

## ■大麻生とは

ここで使っている大麻生は、「大麻生地区」というような意味で、荒川の明戸堰より更に上流のコハクチョウの餌付けが行われているところあたりから、熊谷大橋付近の野鳥の森と呼ばれているところまでの、荒川とその左岸の河川敷を中心とした地域を指しており、川本町、熊谷市、江南町にまたがっています。

## ■大麻生の探鳥コース

探鳥コースは秩父鉄道の大麻生駅を起点としています。

大麻生では1986年(昭和61年)に県営ゴルフ場が河川敷に造成され、環境が大幅に変わりました。それ以前の探鳥コースは、秩父鉄道大麻生駅の南に広がる河川敷の畑や林、そして河原を巡り、今は無くなってしまった昔の押切橋の付近での鳥合わせというのが、定番でした。この付近の林は、広葉樹が比較的多くて明るい探鳥に適した場所でしたが、ゴルフ場ができて無くなってしまいました。

ゴルフ場ができてからの探鳥コースは、大きく分けて三つあります。一つは、一番多く使われているコースで、土手沿いに上流に向けて明戸堰まで、あるいはそれより少し先まで歩くものです。次のコースは、土手を上流に少し歩き、昔の押切橋につながっていたゴ

ルフ場を横切る道路に下りて川の方に向かうもので、場合によっては川沿いに野鳥の森方面まで足を伸ばすこともあります。そして、もう一つのコースは、土手を下流に向けて歩き、ゴルフ場が切れたところで土手を下りて野鳥の森に入るものです。

## ■大麻生の鳥たち

探鳥会で記録されるのは、必ずしもそこに生息する鳥の全てではないと考えられますので、それを念頭におく必要があります。しかし、記録された範囲のデータからもある程度の傾向は把握できます。

さて、次ページの表をご覧ください。大麻生では200回で132種が観察されています。そのうちで5回以下しか記録されていないのは45種で、これらは、数が少ないもの、大麻生の環境をあまり好まないもの、人目に付きにくいものなどです。逆に50回以上の記録があるのは46種で、これらは大麻生の基本的な鳥と言えるでしょう。

観察記録の増減にも注目してみましょう。

明らかに増えている鳥は、カワウ、アオサギ、コハクチョウ、オナガガモ、ホシハジロ、トビ、オオタカ、ノスリ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、バン、アカゲラ、コゲラ、シロハラなどで、水辺の鳥、猛禽、キツツキ類が目立ちます。逆に明らかに減っている鳥は、ササゴイ、コチドリ、イカルチドリ、シロチドリ、ハマシギ、イソシギ、タシギ、ユリカモメ、コアジサシなど河原で繁殖したりする鳥が目立ちます。紙幅が尽きましたので、ここで増減の原因を考察するのは止めます。それについては皆さんも考えてみてください。

大麻生探鳥会200回の出現鳥記録 (1984.5~2002.9)

	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	前期計	後期計
探鳥会回数	17	15	18	16	17	15	18	18	15	16	18	17	100	100	
最高出現種数	44	44	44	47	40	33	32	33	35	37	43	42	—	—	
最低出現種数	28	22	29	31	24	20	14	20	22	26	25	21	—	—	
1 カイツブリ		13	10	14	12	10	11	15	13	12	9	15	15	65	84
2 ハジロカイツブリ										1				0	1
3 ミミカイツブリ										1				0	1
4 カウウ		11	9	11	12	11	8	9	10	8	8	10	12	24	95
5 オオヨシゴイ							1							1	0
6 ゴイサギ			2	2	1	4	7	7	3	2	1			15	14
7 ササゴイ					3	4	7	5	4					17	6
8 アマサギ							1	2						2	1
9 ダイサギ		8	6	14	10	9	13	15	17	13	15	10	9	65	72
10 チュウサギ							1	3	4	2				5	5
11 コサギ		14	10	15	14	13	14	13	16	14	16	15	14	94	74
12 アオサギ		13	4	10	6	5	6	9	9	11	8	14	10	41	64
13 コハクチョウ		12	5	11	1			1			8	7		16	29
14 オンドリ							1							0	1
15 マガモ		11	7	13	7	5	3	1	2	4	11	12		31	45
16 カルガモ		11	8	14	16	17	15	17	16	12	15	15	11	81	86
17 コガモ		12	6	15	12	2			1	3	14	12		42	35
18 オカヨシガモ		1	1	1	1									1	3
19 ヒドリガモ		1	2	2	1					1	2			2	7
20 オナガガモ		10	7	13	5	2				2	10	11		22	38
21 ハシビロガモ		1	2	1	3					3	1			6	5
22 ホシハジロ		6	3	3	1						7	6		1	25
23 キンクロハジロ		1	1	1	1						3	1		2	6
24 スズガモ													1	1	0
25 ホオジロガモ													1	0	1
26 カワアイサ		1												0	1
27 ミサゴ									1					1	0
28 ハチクマ							1	1	1					1	2
29 トビ		5	8	12	11	7	7	9	13	12	8	7		34	72
30 オオタカ		6	6	8	7	3	2	4	1	6	8	5		14	42
31 ツミ								1	1					0	2
32 ハイタカ		1	1	4	1			2		3	2			7	7
33 ノスリ		7	8	9	4				3	6	7	5		11	38
34 サシバ				5	1	1								3	4
35 クマタカ		1												1	0
36 ハヤブサ		1	2	1	5				1	4	1	1		3	13
37 チゴハヤブサ										1				1	0
38 チョウゲンボウ		5	4	7	7	8	4	4	2	3	4	7	6	19	42
39 ウズラ										1	2			2	1
40 コジュケイ		3	2	8	13	16	9	12	8	10	10	6	2	57	42
41 キジ		3	6	4	13	17	14	8	5	4	4	6	5	42	47
42 バン		2	1	1	1	7	10	9	5	2	4	2		12	34
43 オオバン		1	1	1	1									1	0
44 コチドリ		1	1	7	8	7	5	1			1			22	9
45 イカルチドリ		10	10	9	12	9	8	11	9	4	2	3	8	65	30
46 シロチドリ		2	1	2	3	1	1			1	1			11	1
47 ムナグロ				1	2			2						4	1
48 タゲリ													1	0	1
49 キョウジョシギ					4									4	0
50 トウネン					1									1	0
51 ヒバリシギ					1									1	0
52 ハマシギ		2	2	2	2						2	3		15	5
53 アオアシシギ					2			1	1	1	2			4	3
54 クサシギ		7	2	4	1	2		1	4	1	3	2		17	10
55 タカビシギ					1									1	1
56 キアシシギ					8			5	1					9	5
57 イソシギ		14	7	14	13	12	7	9	10	12	7	13	15	84	49
58 チュウシャクシギ					1									1	0
59 タシギ		1	1		1				1	2	4			9	1
60 アカエリヒレアシシギ					1									1	0
61 ユリカモメ		10	2		1						1	6		17	3
62 セグロカモメ		1	2	1							1	1		2	4
63 コアジサシ					6	11	10	7	3					31	6
64 キジバト		17	15	18	16	17	15	18	18	15	16	18	17	100	100
65 カッコウ					2	13	9	1	2					14	13
66 ツツドリ					1				3	5				4	5
67 ホトトギス						2				1				1	2

	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	前期計	後期計
68 ヒメアマツバメ		1			2	1	1			1				2	4
69 アマツバメ					4	3	3							5	5
70 カワセミ		11	8	7	6	8	4	9	9	6	12	8	14	52	50
71 アリスイ											1			1	0
72 アオゲラ		1	4	5	1									3	8
73 アカゲラ		8	6	7	3					2	8	9	8	13	38
74 コゲラ		10	14	13	9	12	9	8	8	7	11	10	10	41	80
75 ヒバリ		16	13	17	16	17	15	17	17	12	14	18	12	98	86
76 ショウドウトツバメ										1	3	11		7	8
77 ツバメ					16	17	15	18	18	15	8			56	51
78 コシアカツバメ						1								1	0
79 イワツバメ				1	9	9	14	10	8	7				35	32
80 キセキレイ		10	6	9	2	1		2	3	5	10	14	13	42	33
81 ハクセキレイ		17	14	17	15	12	10	12	11	11	13	18	16	73	93
82 セグロセキレイ		17	14	17	15	16	14	17	17	14	15	18	16	100	90
83 ピンズイ		1	1	1	1						1	1		1	5
84 タヒバリ		9	10	10	11	1	1	1				4	11	33	25
85 ヒヨドリ		17	15	18	16	17	15	17	18	14	16	18	17	99	99
86 モズ		17	15	18	14	11	6	8	8	13	16	17	17	80	80
87 キレンジャク				2										0	2
88 ヒレンジャク				1	1									0	2
89 ミソサザイ													1	1	0
90 ルリビタキ			2	1										1	2
91 ジョウビタキ		16	14	16	2						1	18	17	40	44
92 ノビタキ											10	1		7	4
93 トラツグミ		1												1	0
94 アカハラ		2	1	2			1						1	2	5
95 シロハラ		1	3	2	2							1	1	0	10
96 ツグミ		17	15	18	16	4					1	13	17	49	52
97 ウグイス		14	11	13	15	11	7	8	3		2	13	15	44	68
98 コヨシキリ							1							0	1
99 オオヨシキリ							16	15	13	2	2	1		27	22
100 センダイムシクイ							1					1		2	0
101 キクイタダキ						1						1		1	1
102 セッカ		1	1	4	15	14	15	16	12	5	2	1		49	37
103 オオルリ					1										

# 急減するトモエガモ！

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

## ■はじめに

日本に渡って来る多くのカモ類の中でトモエガモが繁殖地、渡りの経由地、越冬地の生息環境変化で急減している。トモエガモの現況と埼玉県および全国におけるカウント数を紹介しながら、その背景を考える。

## ■トモエガモの繁殖地と越冬地

Baikal Teal の英名をもつトモエガモは、ウスリー地方を除く(カ・ア・ヴォロビョフ1977) 東シベリアのツンドラ帯、森林ツンドラ帯、針葉樹林帯の湖沼、川や水路を伴った湿原の自然堤防、島、デルタ上で営巣、繁殖し、東アジアの大きな湖や水田で越冬する (Flint et al. 1984)。

1985年/1986年冬(12月~1月)における国内の越冬地は、西日本の太平洋岸各県を除く宮城県、山形県から九州までの内陸、海岸となっていた(環境庁自然保護局1988)。近年、加賀市鴨池が国内有数の越冬地となっている。東アジアでは中国で1万羽、朝鮮半島でやや回復し35万羽が越冬している(アジア太平洋地域渡り性水鳥保全委員会トモエガモプロジェクト日本チーム2002)。2000年のIUCN レッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類に挙げられている。

## ■トモエガモの食性と東シベリア

トモエガモが繁殖する東シベリアでは他のカモ類も数多く繁殖しているが、それらはトモエガモ程急減していない。トモエガモは越冬地においてイネ、タビエ、タデの種子など植物質を主食とし、トビゲラ、ユスリカなどの水生昆虫やエビ類、トビムシなどの甲殻類も食べる(清棲1981)。東シベリアでは現在もユスリカ対策のため毒性の強い DDT や BHC を日常的に使用している。繁殖期のトモエガモの食性が越冬期と大きく変わらなく動物質が増えると考ええると、東シベリアにおける水生昆虫や甲殻類の薬害汚染がトモエガモに集中的に繁殖率低下を

もたらしている事が考えられる。

## ■トモエガモの習性と狩猟

トモエガモは渡りや越冬期、時には10万羽を超える大きな群れとなって行動する。この習性により渡り時のウスリー地方や越冬期の中国、朝鮮半島で絶好の狩猟対象となる。

## ■急減するトモエガモ越冬数

日本におけるトモエガモのカウント数は、1976年13,805羽(環境庁自然保護局1999)であったのが近年は1,000羽から2,000羽と急減している。埼玉県におけるカウント数(表)によれば最多は1986年、1987年の200羽弱、2002年はわずか8羽と急減している。

## ■おわりに

急減するトモエガモの状況を改善するため、県内における生態や狩猟、その他の情報が有りましたら、県支部研究部までご一報下さい。(小荷田行男)

### 文献(発表順)

- カ・ア・ヴォロビョフ 1977 ウスリーの鳥上——野鳥の生態と分布——たたら書房 米子  
清棲幸保 1981 野鳥の事典 第12版 東京堂出版 東京  
V.E.Flint, R.L.Boehme, Y.V.Kostin, A.A.Kuznetsov 1984 A Field Guide to Birds of USSR Princeton University Press New Jersey

環境庁自然保護局 1988 第3回自然環境保全基礎調査動植物分布調査報告書(鳥類) 日本野鳥の会 東京  
環境庁自然保護局 1999 第30回ガンカモ科鳥類の生息調査報告書 環境庁 東京

アジア太平洋地域渡り性水鳥保全委員会トモエガモプロジェクト日本チーム 2002 よみがえれ!トモエガモ—トモエガモとその生息環境の保全を目指して— 加賀市鴨池観察館 加賀

行政区域	清川町	所沢市	久喜市	本庄市	吉見町	川口市	戸田市	熊谷市	北川辺町	川本町	川越市	調査地不明	埼玉計	日本	
調査地	武蔵丘陵	高瀬公園	利根川	大沼	荒川	養良湖	江戸川	皇立農林公園	小群川	調整池	調整池	調整池	調整池	日本野鳥の会	
調査範囲	森林公園沼	狭山湖	昭和池	東大橋下流	百穴湖	荒川	荒川	荒川	谷中湖	野田川	芳沼	調整池	調整池	調整池	
1982	2	2	7							2		7	20	11,573	6,311
1983	2	3	9										14	2,667	4,252
1984	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,175	2,137
1985	4	6	23										33	5,012	4,246
1986	*	*	*	*									199	1,881	1,872
1987	10		175		10								195	4,624	2,432
1988	1		16		1								18	2,193	1,912
1989			6	2									8	1,018	1,100
1990	1		64	*									65+	2,060	3,960
1991	3		64	1									68	1,924	1,974
1992	9		24	6		1	1		3				44	2,048	295
1993	1		3	2									6	365	
1994			11	1			4						16	438	
1995	8		7								2		17	1,707	
1996				3				1					4	771	
1997				2									2	411	
1998			1	1								12	14	2,718	
1999	11						4						15	1,787	
2000														0	
2001	9		22				10		1		1		43		
2002			8										8		

注 \*のデータは不明。

「環境省」のデータは(環境庁自然保護局1999)

「日本野鳥の会」のデータは 日本野鳥の会のガン・カモ・ハクチョウ類全国一斉調査のデータ。

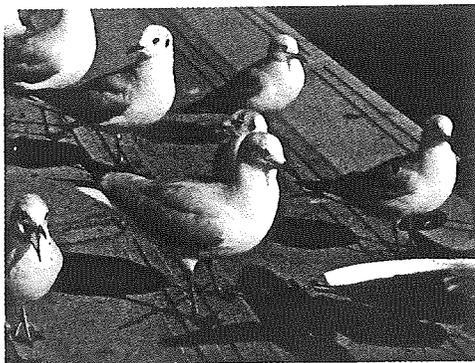


# 野鳥情報

**岩槻市岩槻文化公園** ◇10月22日、メボソムシクイ1羽、ジョウビタキ♀1羽、キビタキ(声のみ)、トケン類の飛翔。ツミ1羽、樹上から辺りを見回し、高速で飛び去った。10月28日、アオジ♀♀初認。10月29日、ジョウビタキ♀1羽、シメ3羽、アリスイ1羽、今年もアリスイが来た。10月29日、ジョウビタキ♀が「ヒッヒッ」と鳴いている灌木の下の方にアリスイがとまっていた。元荒川でヒドリガモ150羽以上の大群。11月8日、アリスイは2ヶ所を見た。2羽いるようだ。ツグミ、シロハラ、アカハラがようやくどっと入って来た。11月11日、ツグミ、アカハラ、シロハラの他、オオジュリン初認、ベニマシコの声。34種確認。11月13日、カシラダカ3羽、草地から灌木に。今季初認。かすみ網を張っていた男性2人を見つけたので注意したところ、引き上げていった。11月15日、アリスイ1羽、久しぶりに確認。葦原の灌木にとまる。11月21日、チョウゲンボウ1羽、上空をヒラヒラ通過。ルリビタキの「ゲッゲッ」という声が聞こえるが姿は見えぬ。11月24日、元荒川でセグロカモメ3羽(鈴木紀雄)。

**岩槻市太田** ◇10月25日、実家の庭をひよいと見たら、アオジ?がいた。よく見たらクロジ♂1羽または2羽でびっくり。数日来ていた(鈴木紀雄)。

**岩槻市慈恩寺** ◇11月19日、今冬も慈恩寺橋の街灯にセグロカモメがやって来た。冬



ユリカモメ(塚本孝太郎)

だ!(鈴木紀雄)

**蓮田市黒浜沼周辺** ◇10月25日、療養所内のブッシュで「チッチッ」と鳴くので、近づいたら、ヒョッコとクロジ♂1羽が現れた。10月29日療養所内でシメ5羽飛翔。ピンズイが尾を振り振り地上で採餌。11月1日、黒浜沼脇の木でアオゲラ♀1羽、近くでシメ4羽。11月8日黒浜沼西上空でオオタカ若鳥1羽、カラスにモビングされる。下沼近くの用水溝からクイナが飛び出し、葦原へ飛翔。オオジュリン、カシラダカ。35種確認。11月11日、上沼でカルガモ約40羽の中にマガモ♀1羽。葦原でノビタキ1羽、早く南へ向かえヨ(鈴木紀雄)。

**春日部市下大増新田** ◇10月29日、タヒバリ確認(鈴木紀雄)。

**さいたま市/戸田市彩湖付近** ◇10月27日、ヒクイナ2羽、西岸の池周囲やぶの中で鳴き交わしていた。11月3日、北岸の武蔵野線鉄橋付近でこの冬初めてのアリスイ1羽が葦原の中の木の枝に。葦原にはオオジュリン多数。さきたま大橋上空をヒメアマツバメ2羽。ベニマシコの声も。11月10日、ベニマシコの声が多くなり、この冬初めて草の実をついばむ姿を観察(海老原美夫)。◇11月4日、彩湖湖畔の葦原でオオジュリン、カワラヒワ、モズ、シジュウカラ、スズメ。彩湖のブイの上でコサギ、アオサギ、ユリカモメ、カワウ、ウミネコ。水上でオカヨシガモ12羽、カルガモ2羽、ハシビロガモ2番、キンクロハジロ、ホシハジロ40羽、カイツブリ3羽、カンムリカイツブリ冬羽夏羽各1羽、オオバン5羽。釣り堀付近でカワセミ、ジョウビタキ♀、アオジ、ハクセキレイ(陶山和良)。

**さいたま市白幡2丁目** ◇11月9日、支部報校正のために事務局に向かって自転車を走らせていたら、屋敷林の樹冠から樹冠に飛ぶツグミ30羽位の群れ(海老原美夫)。

**さいたま市秋ヶ瀬** ◇11月9日、秋ヶ瀬取水堰脇の芝生でコアジサシ幼鳥2羽が餌をついばんでいた(志賀敢)。◇11月17日、秋ヶ瀬公園で見通しのきく池のほとりに座っていると、対岸の樹冠に小鳥たちの群れが

次々と降りる。ツグミ、シメ、アトリ、それぞれ20~30羽、渡ってきたばかりで、群れで行動している。冬鳥たちの渡来を目の当たりにする思い。キビタキ1羽、下嘴が下に折れ曲がった個体。1週間前から観察されているとのこと（海老原美夫）。

さいたま市宮本 ◇11月16日午後2時~4時  
現場見学会の仕事中、時々空を見ていたら、時間をおいて、ツミ1羽、オオタカ1羽が通過した（藤原寛治）。

さいたま市大谷 ◇11月25日、環境広場でコガモ9羽、タヒバリ5羽以上、タシギ10羽、クサシギ3羽、ハクセキレイ多数（鈴木紀雄）。

志木市荒川 ◇11月10日、志木第7ソフト場付近の東岸よりでカンムリカイツブリ1羽が盛んに餌を追っていた（志賀敢）。

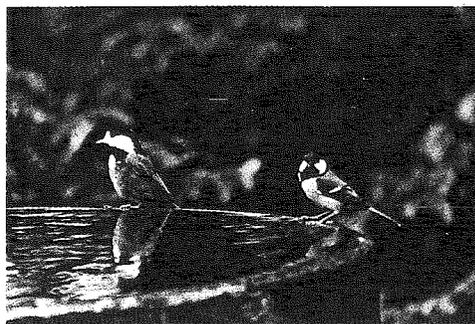
杉戸町新上戸橋 ◇11月3日、カワセミ1羽、左から右へ飛ぶ。朝日が当たった側面が、普段見慣れているコバルトブルーではなくエメラルドグリーンに光り、とても美しかった（徳田潤子）。

鷺宮町 ◇11月4日、東鷺宮沼井公園でカワセミ、ジョウビタキ♀、ベニマシコ（徳田潤子）。

幸手市天神島橋 ◇11月12日、キセキレイのペアが追いかけてこ。アオジ、アカハラ（徳田潤子）。

幸手市平須賀 ◇11月15日、「アスカル幸手」外壁の上のでっぱりで休憩していたチョウゲンボウ1羽。羽の手入れに夢中（徳田潤子）。

幸手市神扇 ◇11月20日、神扇池そばの鉄塔中程でチョウゲンボウ1羽、すぐカラスに追い払われた。その後、ハヤブサの幼鳥2羽、鉄塔の最上部にしばらくいた。なぜかカラスは全然来ず。30分以上いたようだ。



ヤマガラとシジュウカラ（松村禎夫）

目の下の黒が目立った（徳田潤子）。

菖蒲町小林及び鴻巣市笠原 ◇11月16日、ハシボソガラスもかなり混じるミヤマガラス約150羽の群れ中にコクマルガラス暗色型8羽。別のミヤマガラス約300羽の群れにもコクマルガラス暗色型10羽以上。11月19日、ニューナイスズメ約100羽、シラコバト1羽。ミヤマガラス約300羽の群れ中にコクマルガラス暗色型10羽以上、淡色型1羽（鈴木紀雄）。

久喜市菖蒲公園昭和池 ◇11月20日、オシドリ♂7羽♀4羽、キセキレイ3羽（徳田潤子）。

所沢市狭山湖 ◇11月18日、堤防工事が終わり、11月14日より広々とした堤防から水鳥が見られるようになりました。カンムリカイツブリの中にミミカイツブリ8羽、ヨシガモ♂3羽、オカヨシガモが多いこと。ユリカモメが40羽南西から北東に低くなったり高くなったりしながらも、着水することなく通過したのが目立ちました（小林ますみ）。

坂戸市城山 ◇11月23日午前10時頃、城山の森の中でウソ♂1羽。胸から腹まで赤い、アカウソでした。今シーズン初認（増尾隆）。

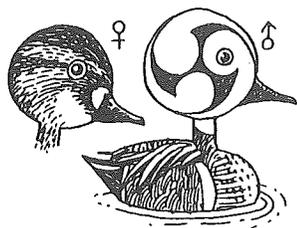
表紙の写真

ハギマシコ（スズメ目アトリ科ハギマシコ属）

12月。雪の降った翌日。戸田市彩湖周辺では、雪の重さで倒れた草の種に、鳥たちが集まっていました。ジョウビタキを撮影していると、見慣れない鳥が目飛び込んできました。ハギマシコ！こちらを気にもせず、5分ほども草の種をついばんでいました。

写真と文・手塚正義（川口市）

# 行事案内



トモエガモ (富士鷹なすび)

「要予約」と記載してあるもの以外は、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちもあなたを探していますので、ご心配なく。参加費は、一般100円、会員と中学生以下は50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋。もしあれば、双眼鏡などの観察用具も(なくても大丈夫)。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。悪天候のときは中止。小雨決行。できるだけ電車バスなどを使って、指定の集場所までお出でください。

## 北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：2月2日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園駐車場。

交通：JR高崎線北本駅西口アイメガネ前から北里メディカルセンター病院行きバス8：40発にて「自然観察公園前」下車。

担当：岡安、大坂、立岩、永野(安)、永野(京)、山野、樋口

見どころ：「寒いね」「ああ寒いね」「おなかですいたね」「たくさん食べなくちゃあね」鳥たちのそんな会話が聞こえてきそうです。ベニマシコ、カヤクグリ、アリスイ、ルリビタキが越冬中。

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷駅9：11発、又は、寄居駅8：49発に乗車。

解散：正午ごろ

担当：榎本(秀)、中里、後藤、和田、森本、倉崎、高橋(ふ)、藤田、栗原、大澤、飛田

見どころ：冴え返る朝の土手道。耳を澄ませば、どこからかジョウビタキの声。冬枯れのくさむらにカサコソと小鳥たちの気配を感じながら、ハクチョウをめざして歩きましょう。冬晴れの大空をタカが舞えば、それが今日のクライマックス。

## さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

〈差間コース〉

期日：2月2日(日)

集合：午後2時、浦和くらしの博物館民家園念仏橋バス停前。

交通：JR浦和駅西口バス1番乗場から東川口駅北口行13:30発に乗車。念仏橋下車。

解散：午後4時30分ごろ

担当：手塚、伊藤(芳)、倉林、工藤、吉岡(洋)、若林、新井(勇)、土沢、石田、赤堀

見どころ：午後からのゆっくり探鳥会です。猛禽類を期待しながら調節池予定地を巡ります。

後援：浦和くらしの博物館民家園

## さいたま市・大宮市民の森探鳥会

期日：2月9日(日)

集合：午前9時JR土呂駅東口、又は大宮市民の森正門前広場(JR土呂駅東口より徒歩7分)。

担当：工藤、藤原、森(力)、松村、松永、日根、有馬、赤坂、阿久沢(キ)、阿久沢(廣)

見どころ：市民の森周辺の芝川や斜面林に、カモを初め冬鳥達を探します。定番のカワセミも元気な顔を見せてくれると良いですね。

## 北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：2月11日(火・祝)

集合：午前8時10分、東武日光線柳生駅前。または午前8時30分、中央エントラン

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：2月9日(日)

ス駐車場。

交通：東武日光線新越谷 7:15→春日部 7:29  
→栗橋 7:54→柳生 8:04着。JR 宇  
都宮線大宮 7:08発→栗橋 7:43着、東  
武日光線乗換。

解散：13時30分頃、史跡ゾーンにて。

担当：橋口、伊藤（隆）、内田、四分一、田  
邊、玉井、田村、中里

見どころ：今シーズンはカモ類の数が少ない  
ため、今回は強行軍で鷹見台を目指し、  
オオタカ、チュウヒなど観察したいと  
思います。寒い時期に10kmの行程に  
なります。防寒対策を完全にし、昼食  
を忘れずに持参して下さい。

### 戸田市・彩湖探鳥会

期日：2月13日（木）

集合：午前9時10分、彩湖道満グリーンパー  
ク中央駐車場。

交通：埼京線武蔵浦和駅2番バス乗り場より  
「下笹目」行き 8:40発にて、「彩湖  
道満グリーンパーク入口」下車、交差  
点まで戻り左折して土手を越える。

担当：倉林、百瀬、松村、有馬、森（秀）、  
赤坂

見どころ：昨年の探鳥会では猛禽が出ません  
でした。今年は出てほしい。一番寒い  
時ですが元気を出して来てね！！

### 上尾市・丸山公園探鳥会

期日：2月15日（土）

集合：午前7時50分、丸山公園北口駐車場。

交通：JR高崎線上尾駅西口1番バス乗り場  
より、西上尾車庫行き（畔吉経由）7:28発  
にて「畔吉」下車、徒歩8分。

担当：大坂、阿久澤（キ）、阿久澤（廣）、立  
岩、永野（安）、永野（京）、山野

見どころ：早起きは三文の得、厳寒の早朝探  
鳥会に参加しませんか。カワセミや赤  
い鳥に会えるでしょう。荒川の土手に  
上って真白の富士を眺めれば、寒さを  
一瞬忘れるかも。

### 東京都・上野公園不忍池探鳥会

期日：2月15日（土）

集合：午前10時、上野公園西郷像前

担当：山部、橋口、田邊

見どころ：初めての方や親子づれの方にもピ  
ッタリ。黒や白、茶色などのカモが足

元まで近寄ってきます。それらを見て、  
カモ・ビンゴやぬり絵を楽しみます。

12色程度の色鉛筆をご用意ください。

### 『しらこぼと』袋づめの会

期日：2月15日（土） 午後1時～2時ごろ

会場：支部事務局108号室

案内：発送前に内容を知ることができるのは、  
手伝ってくださる方のささやかな特権  
です。

### さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：2月16日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東  
口、集合後バスで現地へ。又は午前9  
時、さいたま市立浦和博物館。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：楠見、福井、手塚、倉林、渡辺（周）、若林、  
森（力）、小菅、新部、赤堀、兼元

見どころ：一年で一番寒い季節。しかし、鳥  
見人にとっては一番忙しく、楽しい季  
節です。三室の里も鳥たちに囲まれて  
楽しいですよ。まわりを見渡すとオオ  
イヌノフグリなどの草花、梅の花が咲  
いています。

### 滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：2月16日（日）

集合：午前10時10分、森林公園南入口前。

交通：東武東上線森林公園駅下車、森林公園  
南口行き 9:59発バスにて終点下車。

解散：午後0時30分頃

費用：入園料400円（子供80円）

担当：藤掛、内藤、佐久間、岡安、後藤、青  
山、石井（幸）、喜多、杉原、高橋（優）、  
藤澤

見どころ：雪に覆われた福寿草、桜の蕾を食  
べにくるウソ、カモのラブコール等…。

### 深谷市・仙元山公園探鳥会

期日：2月16日（日）

集合：午前9時、JR高崎線深谷駅南口のロータリー付近。

解散：正午頃

担当：小池（一）、倉崎、堀（敏）、堀（久）、藤田、新井（巖）、羽入田

見どころ：駅近くの公園でカワセミを観察。  
仙元山ではシロハラ、ビンズイ、アオゲラ、キクイタダキなどを期待します。

### 羽生市・水郷公園探鳥会

期日：2月22日（土）

集合：午前8時45分、東武伊勢崎線羽生駅改札口。集合後バスにて現地へ。又は午前9時30分、水郷公園駐車場。

交通：JR宇都宮線大宮7:39発→久喜7:59着にて、東武伊勢崎線（春日部7:55発→）久喜8:09発に乗車→羽生8:30着。

解散：正午ごろ

担当：中里、和田、田村、宮下、四分一

見どころ：公園の池ではカモ達の求愛活動が始まっています。アシ原では冬鳥達がお出迎えしてくれます。遠く赤城の峰々を望みながらゆっくりと歩きます。

### 東松山市・物見山探鳥会

期日：2月22日（土）

集合：午前9時30分、物見山駐車場（高坂方面から峠を越えた右側）。

交通：東武東上線高坂駅西口から川越観光バス鳩山ニュータウン行き8:46発、9:00発にて「大東文化大学前」下車、バス進行方向に徒歩5分。

担当：島田、岡安、藤掛、志村、立岩、後藤  
見どころ：市民の森や山里で山野の小鳥や早春の花を見つけましょう。

### 本庄市・坂東大橋探鳥会

期日：2月23日（日）

集合：午前8時50分、JR高崎線本庄駅北口。

交通：集合後、十王バス新伊勢崎行きにて「坂東大橋南詰」下車。現地集合可。工事

中のため今までの場所には駐車できません。

担当：北川、倉崎、堀（敏）、堀（久）、新井（巖）、羽入田、小池（一）、小池（順）

見どころ：今年も、純白なカワアイサは来てくれているでしょうか？ ヨシガモは？ オカヨシガモは？

### 富士見市・柳瀬川探鳥会

期日：2月23日（日）

集合：午前9時、東武東上線柳瀬川駅東口前。

担当：高草木、佐久間、志村、中村（治）、神場、中村（祐）、荒木、山田（義）、藤澤、杉原、池内、原

見どころ：春を間近に感じながら旅立つ準備のカモ達とタシギ、ジョウビタキ、長い冠羽と緑色の光沢のタゲリと、やっぱりこの場所で会っておこう。

### 岩槻市・岩槻文化公園探鳥会

期日：2月23日（日）

集合：午前8時40分、岩槻駅前。または9時20分、文化公園国道16号側駐車場。

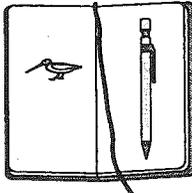
交通：東武野田線大宮8:19発柏行き、または春日部8:24発大宮行きに乗り、岩槻駅で下車。集合後バスで現地へ。

担当：中村（榮）、吉安、橋口、玉井、松永、田中、長嶋、長野、榎本（建）、野村

見どころ：公園やその周辺を歩きます。自然林ではシロハラ、アカハラが、葦原ではシメやジョウビタキが、水辺ではカモメやカモの仲間が見られます。アオゲラやルリビタキが来ていれば最高です。皆で探しましょう。



某重要会議



# 行事報告

8月4日(日) 北本市 石戸宿

参加: 48人 天気: 曇

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ アオサギ オオタカ コジュケイ キジ バン キジバト カワセミ ツバメ ヒヨドリ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (22種) 学習センター敷地内のヤマモモにメジロが営巣しているらしく、頻繁に出入りしていた。湿地の住人オオヨシキリの鳴き声は全然聞こえない。低木の下のコジュケイを全員で見られた。釣堀でダイサギを観察していると、傍らに立てられた案山子の上にカワセミがやってきて皆大喜びだった。(岡安征也)

9月21~23日(土~月・休) タカの渡り調査

ボランティア: 45人

新井巖、池内輝明、榎本秀和、大澤祐、小沢泰三、川畑光雄、岸春野、北村隆、倉崎哲郎、倉崎淑子、栗原省二、後藤喜久子、後藤康夫、小林茂、小林ますみ、佐久間博文、佐藤久美子、佐藤壯伍、佐藤亘、島田恵司、島田沙織里、清水郁夫、杉原みつ江、鈴木敬、鈴木千代美、高野あや子、成田武敏、新部泰治、林久美子、藤澤洋子、逸見嶮、三上博、山下敏、山下美羽、和田康男、鳩山野鳥の会 (10人)

10月6日(日) 北本市 石戸宿

参加: 34人 天気: 曇

カワウ ゴイサギ ダイサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ トビ オオタカ ハイタカ属sp. バン キジバト カワセミ コゲラ セキレイ科sp. ヒヨドリ モズ シジュウカラ ホオジロ スズメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (24種) 木道の近くではタコノアシが、その名のとおり赤くなっていた。ツリフネソウ、キツリフネ、ゲンノショウコ、ガガイモをフラワーウォッチング。珍しくハイタカ属(ツミ

またはハイタカ)とともに飛翔するトビが見られた。高尾の池ではゴイサギの群れが休んでいた。アシに止まったカワセミが見られたのが数人だったのが残念。(岡安征也)

10月26~27日(土~日) 長野県 戸隠・飯綱高原

参加: 24人 天気: 晴

カイツブリ カルガモ コガモ ヒドリガモ トビ ノスリ ワシタカ科sp. キジ キジバト アオゲラ アカゲラ オオアカゲラ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズイ ヒヨドリ モズ ミソサザイ ルリビタキ アカハラ シロハラ マミチャジナイ ツグミ ウグイス キクイタダキ キビタキ ムギマキ エナガ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ キバシリ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ クロジ カワラヒワ マヒワ ウソ イカル スズメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (49種) 東京駅を「あさま」が発車する頃には雨は本降りとなった。しかし、上田を過ぎる頃には、予想に反して青空が広がってきた。今日1日、天気であればいいなと思いながら長野駅に降り立った。前線の通過が予想されるため、予定を変更し、鏡池、森林植物園を中心に探鳥した。ムギマキは見られなかったが、マミチャジナイ、マヒワなどを含めて、かなり充実した1日となった。夜中に前線が通過。朝起きるとまずまずの天気。今日こそムギマキと皆張り切る。やった、見つかった。少し遠いが、3羽ほどいるようだ。全員が見られたようであるが、物足りない。反対側から攻めることにする。近くで見られたので手招きするが、皆マミチャジナイに夢中で気がつかない。結局、近くにいた数人だけが見られた。今回は、天気予報はよい方に外れてくれ、2日とも面白い探鳥ができた。(菱沼一充)

10月27日(日) 川越市 西川越

参加: 26人 天気: 晴

カイツブリ カワウ チュウサギ コサギ カルガモ ヒドリガモ チョウゲンボウ キジ バン イソシギ キジバト カワセミ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (28種) 雨も上がって晴。水上公園の池で早くもカワセミが出て、カモ、モズと見た。土手の上に出て、林の小鳥たちとカケス、入間川で定期的に遅いカイツブリの親子、バンの若、セキレイ等を見ていると、チョウゲンボウのみ♀が上空を飛んでくれた。(佐久間博文)

11月3日(日) 上尾市 丸山公園

参加: 52人 天気: 快晴

カイツブリ カワウ アオサギ カルガモ オオタカ ノスリ コジュケイ タゲリ イソシギ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (31種) 下見では殆ど小鳥の姿は見られなかったが、参加者が多かったせいか歩き出したらメジロが数羽確認できた。滝の池にキセキレイが現れたが、順光だったのでとってもきれいだった。前進して橋の下から飛び出したカワセミを発見してほっとした。(大坂幸男)

11月4日(月、振休) 羽生市 水郷公園

参加: 35人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ヨシゴイ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ ミサゴ オオタカ ノスリ バン オオバン イソシギ キジバト ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (38種) うららかな秋晴れの中でスタート。池ではオオバンが間近に数羽出て、じっくり観察できた。そのとき、足元から思いもせぬヨシゴイが飛び出し、びっくりさせられる。橋のもとではジョウビタキが久方の出会いに頻りと挨拶。見上げるとアシ原の上空で

はミサゴが舞う。遠くには日光、赤城の峰々が皆の目を楽しませてくれた。シラコバトが出なかったのが残念だった。(中里裕一)

11月10日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 51人 天気: 晴

カイツブリ カワウ アオサギ コハクチョウ マガモ オナガガモ ホシハジロ スズガモ トビ オオタカ ノスリ ハヤブサ クサシギ ユリカモメ セグロカモメ キジバト コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (36種) 「冬鳥探し」に大麻生駅を出発。北風が一段と寒さを増す。ゴルフ場横の林に入るとジョウビタキが出現。カシラダカ、ツグミと続く。上空にはハヤブサ、ノスリも姿を現す。明戸堰ではユリカモメ、セグロカモメのおまけ付き。帰るころには北風もおさまり楽しい「冬鳥探し」であった。(後藤康夫)

11月16日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 8人

荒木恒夫、海老原教子、大坂幸男、佐久間博文、藤掛保司、藤野富代、増尾隆、松村禎夫

11月17日(日) さいたま市 三室地区

参加: 61人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ オナガガモ バン オオバン イソシギ ユリカモメ キジバト カワセミ キセキレイ セグロセキレイ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ シジュウカラ メジロ ホオジロ クイナ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシブトガラス ハシボソガラス (33種) 晩秋の三室を堪能しようとコースを選定。桜やイチョウ、ケヤキの色彩が燃えるようにきれいだった。代用水を歩いて大道橋へ。ジョウビタキが多く出現。ツグミ、アオジ、シメと冬鳥。そこから大道東橋、上新宿橋、最後に北宿大橋と橋巡り。橋の上から斜面林の紅葉がよく見える。大橋でカワセミばっちり。すぐ上をユリカモメが飛び、ゴイサギの成鳥の青がくっきり見えた。(楠見邦博)

## 連絡帳

### ●本部の連絡先など一覽

業務時間：午前 9 時 30 分から午後 5 時 30 分まで。土・日・祝祭日定休。

#### 初台事務所

〒151-0061 東京都渋谷区初台 1-47-1 小田急西新宿ビル1階 (財)日本野鳥の会

会員室 (会員グループ、野鳥誌グループ)

03-5358-3510 03-5358-3511

総務室 (総務グループ、経理グループ)

03-5358-3513 03-5358-3514

普及室 (人材育成グループ、普及教育グループ、販売出版グループ) 03-5358-3516

サンクチュアリ室 03-5358-3517

以上各室共通の FAX 03-5358-3608

バードショップ 03-5358-3584

(バードショップの営業時間：正午から午後 7 時まで。日・祝祭日定休)

通信販売受付 03-5358-3515

通信販売 FAX 03-5358-3609

#### 鳥と緑の国際センター (WING)

〒191-0041 東京都日野市南平 2-35-2 鳥と緑の国際センター

自然保護室 (情報調査グループ、生息地保全グループ、種・法制度グループ)

042-593-6871 042-593-6872

FAX 042-593-6873

### ●普及活動

10 月 25 日 (金) 川口市立原町小学校で開催された埼玉県教育委員会・川口市教育委員会委嘱研究内容公開の研究発表会で、3 年生の総合的な学習の時間のゲストティーチャーとして、手塚正義が指導。

12 月 15 日 (日) 坂戸市高麗川鶴舞・浅羽地区で開催された「ふるその川高麗川を考える会」第 16 回野鳥観察会で、増尾隆・増尾節子・坂口稔が指導。

### ●2月の事務局 土曜と日曜の予定

1 日 (土) 3 月号編集作業、研究会会議、普及部会議。

8 日 (土) 3 月号校正。

15 日 (土) 袋づめの会。

16 日 (日) 役員会

### ●会員数は

1 月 1 日現在 2,611 人です。

## 活動報告

12 月 14 日 (土) 1 月号校正作業 (海老原美夫、大坂幸男、喜多峻次、山田義郎)。

12 月 15 日 (日) 役員会議 (司会：田中幸男、各部の報告・講師派遣依頼への対応・探鳥会予定の変更・その他)。

10 月 24 日 (火) 支部報のみの会員宛て 1 月号を郵便局から発送 (倉林宗太郎)。

## 編集後記

28 日まで仕事。29 日秋ヶ瀬公園で鳥見。30 日は 1/3 さぎ山記念公園探鳥会の下見。夕方事務局で資料作り。31 日彩湖、1 日秋ヶ瀬公園で鳥見。2 日年賀状書き。3 日探鳥会。4 日の今日は、朝から原稿書き。遠出もできなかったけど、それなりの年末年始休みでした。(海)

大麻生探鳥会の 200 回目はいつなのかと、一部で話題になっています。どうも、定例になってからか、それ以前を含めるのかということの違いが出ているようです。今月号の特集は後者の考え方で 200 回のデータをまとめてみました。他のも含めて原稿書きの正月でした。(森)  
今年の暮れ、松戸市の 21 世紀の森に行きました。ここの観察舎は、暖房が効いた室内から椅子に座って、備え付けのスコープでいろいろな鳥をすぐ間近で見られるといういい所です。子供を連れて行きましたが、パソコンで遊ばせておけるので、ゆっくり見られました。(藤)

しらこぼと 2003 年 2 月号 (第 226 号) 定価 100 円 (会員の購読料は会費に含まれます)

発行人 中島康夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130

〒336-0012 さいたま市岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号

TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 <http://www.bekkoame.ne.jp/ro/wbsj-saitm/>

編集部への原稿 [yamabezuku@hotmail.com](mailto:yamabezuku@hotmail.com) 野鳥情報 [toridayori@hotmail.com](mailto:toridayori@hotmail.com)

住所変更退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台 1-47-1 小田急西新宿ビル 1 階

(財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608

本誌掲載記事はホームページに転載されます。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。再生紙を使用しています。印刷 関東図書株式会社